

公益社団法人 福岡県理学療法士会

平成 30 年度 第 3 回理事会議事録

日 時：平成 30 年 8 月 18 日（土）14：00～17:30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

出席者：(理事) 西浦、近藤、廣滋、音地、佐藤、宇戸、高橋、熊谷、久原、諫武、永野

岩佐、山内、遠藤、福田、松崎、時吉、今村

(欠席) 永友、久保田

(監事) 日野

(事務員) 中山、長田

(欠席) 森田

(書記) 池田、池永、

【審議事項】

【会長】

1. 調査委員会からの答申について（別紙：01）

諫武理事より「会議の不適切な場所での開催」について、永友副会長、諫武理事、および中山主任で調査委員会を発足し、調査したことを報告。当該理事へ1度目の聞き取りでは本件を否定されたが、告発者への確認で事実であったことが分かった。2度目の聞き取りで今年度のみ不適切な場所で開催したと報告されたが、昨年度の会議の開催場所に関して2件、平成29年6月9日麻生リハ、平成30年3月宗像水光会にて実施された会議に関して疑惑があった。そのため部長に聞き取りを行ったところ、6月9日のみ居酒屋で会議が行われていた。当該理事へ確認したところ、指摘に対し事実と認められた。永友副会長は、本件は虚偽報告であり規律違反であることを嚴重注意した。

西浦会長：三役で処分を協議した。処分に関しては、本理事は虚偽報告に対して3回分の交通費支払い停止。

高橋社会局長、および三役は管理指導不足として、1回分の交通費支払い停止を提案したい。「不適切な場所での会議」に加えて「2度の虚偽報告」は多くの理事や部長を巻き込む結果となった。会費をいただいている自覚をもたなければいけない中、起こったことに対し、本人だけでなく指導管理の立場である三役と高橋社会局長の責任も重いものと考えて処分を提案する。

音地理事：この処分が妥当かは判断つかないが、協会に本件との類似報告はないのか。

西浦会長：前例はない。今回のケースがモデルとなる可能性がある。

山内理事：内部告発した部長がハラスメント受ける可能性を否定できななので、該当する部署から理事を変更することの検討もしたほうがいいのではないかと。

西浦会長：あと半年だから変更しないわけではないが、本理事には嚴重注意を再度行うようにする。

山内理事：何度も提言してくれていた部長がいたのに、受け入れなかった。そのシステムで本当に、部長を守れているのか疑問。

高橋社会局長：本理事がスポーツを盛り上げてきた経緯がある。スポーツの事業に関わっている理学療法士から支援されて、本理事は理事職に推挙された。部長の意見を確認したところ、部はまとまって

いると聞いている。スポーツ事業が立ち上がって、オリパラ事業も進んでおり、本理事の業績をかってというわけではないが、このまま今の担当の理事をしていただきたいと思う。今、担当理事を変更すると、部がバラバラになる懸念もある。

山内理事：部長が今まで提言してきたのに、改善されず、このような結果になっている。本当にまとまっているのか疑問である。

西浦会長：虚偽報告をした部として会員からみられている自覚をもって今後活動するように伝える。

遠藤理事：だれが部長に説明をするのか。局長から説明する場を設けないと安心できないのではないかな。

高橋社会局長：可能な限り私が出席して説明しようと思う。

日野監事：虚偽報告をした事実があり、内部で提言していた部長の意見を聞かずに進めてきた経緯があるので、高橋社会局長がスポーツ事業を受け持って、本理事を局長付けにしたほうが、会員は納得するのではないかな。

佐藤理事：今年の選挙に立候補することは可能なのかな。今後、続けにくい部長が出ることを考えると、次回の選挙の立候補を辞退してもらうことは出来ないのかな。

西浦会長：解任については総会に決議を取らなければいけない。不祥事を起こした理事は立候補できないなどの規程を作るには選挙管理委員会を通して総会の決議となるため、この場では決められない。本人は残りの半年の業務を全うしたい希望がある。そのための処分を提案したつもりである。事業に関しては熊谷理事と高橋社会局長がバックアップしてもらいたいと思う。

高橋社会局長：会議を全て水光会病院で行い、私が全て出席し監督するように考えている。

日野監事：運営上は高橋社会局長の提案でいいと思うが、会員に向けての処分と考えたときに「交通費の支給なし」を妥当か考える必要がある。

廣滋学術局長：部長達は本理事の一連の事象に対してどう思っているか、また把握できているか。部長の考えている思いを引き出すことも重要だと思う。

高橋社会局長：スポーツの事業が多いところに不満があることは聞いているが、本件に対する理事への思いは聞けていない。部長一人一人にメールで確認したいと思う。

今村理事：自浄作用の出し方、いわゆる県士会としての姿勢を考えるべきだと思う。理事が足りない中ではあるが、運営に関してのサポートは出来ると思う。個人的な価値観ではあるが、会員に対しての責任の取り方考えるべきである。

諫武理事：本理事は本件について何処まで問題行為として捉えていたのかな。

山内理事：詳細は分からないが、今回の告発者は本理事へ何度も会議の場所を見直すべきと訴えたが、改善が見られないので意見を述べた経緯と聞いている。

日野監事：第3者が部長に意見を求めたほうがいいのではないかな。

松崎地域包括ケア推進局長：部長との関係性を局長が調整してあげるべきではないかな。

山内理事：まだハラスメントは起こっていないが、告発した人が不利益を講じない組織を作るべきである。

熊谷理事：ハラスメントは今後の起こりうることであるのであれば、部長が相談できる窓口を設けてはどうか。

高橋社会局長：そのフォローを含めて私が全ての会議に出席するように考えている。

遠藤理事：実質、高橋社会局長が会議に出る運営なのであれば、やはり局長付けにしたほうがいいと考える。

熊谷理事：今回の処分を県士会だけで考えていいのかな。どこまで社会的に問題なのか整理ができていない。公益法人であるため、法的に問題ないのかな。

時吉理事：会員目線でこの事例にこの処分を妥当と思われるかを検討してはどうか。

諫武理事：社会通念上いけないことではあるが、規程に会議場所の指定の記載がない。

遠藤理事：今回は「居酒屋で会議をしたこと」ではなく、「虚偽の報告」に対する処分を考えるべきだと思う。

岩佐支部局長：現在の担当理事から外し、「社会局付け」にして事業のサポートに回ってもらうべきだと思う。

遠藤理事：処分の「理事会交通費3回分支給なし」は欠席しないことが前提だともおられるが、守れるのか。

近藤事務局長：本件について公益法人の理事という立場で、理事会に対し2度の虚偽報告を行ったことをより重く考えている。仮に「解任」とするのであれば、理事会決議後、臨時総会を開催する必要がある。なお、理事定数は満たしているため補欠選挙は行わず、理事会の推薦で立候補を立てる手順とることとなる。または、「辞任勧告」を行う。厳しい意見にはなるが、個人的にはコンプライアンス違反を重く考えるべきだと思う。内輪で処分しても、理事という立場は失われない。

日野監事：今回の欠席は「体調不良」で間違いないか。

高橋社会局長：間違いない。

日野監事：本理事はメールで本日開催の研修会に参加するため理事会を休む旨を記していたが、その後、理事会への出席の意向を示された経緯がある。本日の理事会欠席は「体調不良」で間違いないか。理事としての姿勢が問われるところと考える。

西浦会長：本理事は「社会局付け理事」として、公益推進事業部は熊谷理事と高橋社会局長が兼任するという、決定でいいか。事業から外し、熊谷理事と高橋社会局長のサポートとする。

山内理事：本理事への処分としてはいいかもしれないが、告発者を守る方法になっているのか。オリパラの推薦も含めて考えるべきだと思う。

西浦会長：「社会局付け理事」「局を代える」「辞任勧告」といった選択肢になるか。とりあえず事業執行理事からは外す方向で検討する。オリパラに関しては今日の決議次第で申し送りなど、検討できる。

高橋社会局長：現在遂行中の事業もあるし、スポーツのために理事になった推挙の経緯を考えると、社会局に残ってほしいと思っている。

西浦会長：「社会局付け」「担当局を代える」「辞任勧告」「解任」の案が上がった。どう決めるか。採決を取るか。

宇戸理事：今までの案は理事の意見であり、任命責任のある西浦会長からこの案を伝えて、判断してはどうか。

西浦会長：任命責任は自分にある。

福田理事：これまでの理事から意見を踏まえ、会長が「再任命」するとしてはどうか。

西浦会長：今、理事から伺った意見をもとに処分を会長に一任するということか。

福田理事：「解任」になると理事会で決議を取らないといけない。会長が理事としての残すと判断されるなら、「再任命」という形を取った方が、筋道としてわかりやすい。

永野理事：本件は急に湧いて出てきた話ではないという印象である。今回の件に対して「今後絶対に起こらない」担保を保てる処置をとってほしい。今回は、理事の処分という話題ではあるが検討してほしい。

諫武理事：現実に臨時総会を開くことは難しいが、「解任」を選択に入れるのか。

今村理事：「解任」の検討も重要だが、「辞任勧告」を本人が受け入れるか、そうでないかで決めてもいいと思う。出処進退は自身で決めていただいて、辞職でなかった場合、どこの部署に「再任命」するかは会長が決めることと思う。正直、自分は「解任」までは考えていなかった。

佐藤理事：この場では「辞職勧告」をするかどうかをこの場で決めて、拒否された場合、「再任命」を含め会

長に決定をお願いするということではどうか。

高橋社会局長：「辞職勧告」をすると、ほぼ本理事は辞めざるをえない状況になる。任命責任という会長責任も踏まえて考慮してほしい。

→西浦会長に一任で承認

西浦会長の判断

本件は「辞任に値する」ことを本人にお伝えする

現在、ハラスメント行為がないことと、今までの業績を鑑みて「社会局付き理事」とし公益推進事業は熊谷理事と高橋社会局長に依頼する。会長および高橋社会局長の責任のもと、当該理事には任期まで理事としてかわってもらうこととする。

【事務局】

【法人事業】

[総務部]

1. WEB 会議システムの活用について

平成 30 年度より導入している WEB 会議が、まだ活用されていない。ぜひ経費節減&時間の効率的な活用のためにも活用を検討いただきたい。

あわせて、WEB 会議システムを活用した研修会のサテライト受講について検討いただきたい。

諫武理事より説明

岩佐支部局長：支部局会議でも web 会議の提案が出たが、デモを理事会の時にでもしてほしい。研修会のサテライトなども検討しているが、各施設ネット環境が整っているわけではないので、事務所からの Wi-Fi のレンタルも検討してほしい。

諫武理事：実際にサテライトを行うことになったら、業者にも相談を行い必要なものを揃える。

宇戸理事：サテライトに会員が拡散することで年間の講習会の参加者が少なくなる懸念がある。大きい会場を借りなくて予算的には助かる。e ラーニングでの動画を撮影して受講費をとって動画を提供することも検討している。

諫武理事：動画機能があるので e ラーニングは可能かもしれない。

岩佐支部局長：サテライトや e ラーニングに対してポイントの申請は可能か。

宇戸理事：同一日研修会であればできる可能性はある。

松崎地域包括ケア推進局長：協会にレポートを提出しなければいけないかもしれない。

山内理事：ライブのほうがいい。撮影になると著作権などの問題で講師が嫌うかもしれない。カメラの台数や講師謝金など設備環境は整えなければいけないと考える。支部局でも下半期で行いたい気持ちはある。

音地理事：他の県士会の事例はどうか。

諫武理事：事例は聞いていない。総会で出たご意見を参考に、web 会議のサイトの有効活用として、サテライトを提案した。

岩佐支部局長：現在、web 会議をどこが使用しているか。

諫武理事：現在は総務と 50 周年記念式典のみ。

西浦会長：web 会議の始まりは経費削減や集まりにくさであって、設備投資にお金がかかってもいけない。Web 会議を押し付けたいわけではない。

諫武理事：経費でいうと総務部は今まで 25000 円が 10000 円になっている。

岩佐支部局長：支部としては、サテライト研修を是非、実現してほしいと考える。

西浦会長：会場でサテライト研修なのか、個人で見られたほうがいいか。費用がかかりすぎてもいけない。

諫武理事：費用はライブで研修する方が低い。個人で見こともできるが、費用は今の契約のランクを上げることになるので費用は掛かると思われる。

近藤事務局長：個人で見られるようにするには、申し込みした何百人の会員に対してサイトへの招待を配信しなければいけない。会場を押さえて集めた方が費用対効果はいいのではないか。講師が残してほしくないスライドなどもあるので、どこまで広げられるかは検討が必要だが、まずは会場に会員を集めたサテライト研修や web 会議から使用していくことが好ましいと思う

→継続審議：サテライトの条件、管理、設備などの確認

2. 災害医療研修会の次年度開催について（別紙：02）

平成 31 年度事業として、災害医療研修会の開催を計画したい。なお、詳細については、PT・OT・ST 合同での企画とする予定であるため、詳細が確定次第報告する。

諫武理事より説明

西浦会長：3 士会の連絡協議会でも災害研修の提案があった。3 士会の合同か理学療法士だけで開催して、他職種は徴収するかは決めなければいけない。

岩佐支部局長：福岡県からお金は出るのか？

西浦会長：出ない。

山内理事：この事業は公益 1 になるのか。ポイントを取得するなら、OT 協会とは一緒にできないと思う。

近藤事務局長：公益事業 1-1-7 その他に当てはまるかどうかを確認する必要がある。

西浦会長：災害研修会自体は必要であると思う。単独開催か合同開催か。

諫武理事：この件は JRAT の小倉リハビリテーション病院の赤津医師からの依頼と聞いている。

西浦会長：3 士会合同の方向で話を進める方針とし、予算は連絡協議会に一任する。

→承認

3. 共催・協賛・後援規程作成について（別紙：03）

福岡県理学療法士会として今後要請が来ることが予想される共催・協賛・後援規程について取り決めがなかったため規程の作成を行った。規程運用について許可を頂きたい。

総会で出た検討依頼事項の検討し作成した

近藤事務局長：申請手続きの資料は今までも事務局に到着していたが、明確なルールがなかったのをこれを作成した経緯である。平成 27 年度に理事会で決定したことは、後援：三役審議で承認が取れば、決定できる。内容は理事会に提出する。共催：理事会にかけて決定する。

山内理事：主催の定義も入れた方がいいのではないか。主催は県士会が責任を負うことになる。ポイント申請を行うなら主催でなければいけない。共催になるとポイントは半分の 5 ポイントになる。支部にも義肢装具などの依頼はきている。

西浦会長：主催は事業でこちらの企画になる。他の業者と一緒にやりたい場合のポイントを心配しているのか。

岩佐支部局長：ポイントは協会が認めることなので共催とは関係ないのではないか。

熊谷理事：規程にポイントは県士会主催の研修会であると〇ポイントと書いてある。

山内理事：共催の場合は協会に認めてもらうよう申請を促すのか、県士会が書類を作成して協会に提出するのか。その場合、ポイントは減点になる。

西浦会長：ポイント申請は協会から許可がもらえれば、付与できる。共催は関係ない。

山内理事：通常通り県士会が協会に依頼するのか。他団体は自分たちで協会に申請して5ポイントを付与できるようにしている。共催、後援はどの立場なのか、主催と共催の分け方が明確で無いと思う。

岩佐支部局長：過去の事例で、後援を県士会にもらって、ポイント申請は直接協会に問い合わせてもらったことがある。

山内理事：共催も他団体にポイント申請を行ってもらえるのか。共催なら、こちらも金銭面の負担があるので、同じでいいのか。

近藤事務局長：本件の前提は県士会主催に他の団体が参加することを考えている。他の団体に県士会が便乗する場合は、相手の規定に乗じて参加することになる。県士会の研修会に参加したい依頼がきたときに必要な規定を作成しているという話でいいのではないか。他の学会が県士会に「後援名義を下さい」と申請された場合、他学会の規定に則って、他学会が県士会に申請される。申請の結果を受けて「後援を承諾する」と返事をする。共催の場合はお金が発生するので、理事会で承認が得られれば、「共催する」と返事する。その場合、相手の規定に則ってお金を出すことになると思う。

松崎地域包括ケア推進局長：後援を三役承認で審議可能ならば、そのようにしてほしい

近藤事務局長：実際に、後援を希望する申請の数は多く、メール審議や理事会を待てる状態ではない。できれば平成27年度に決めた内容を追加したい。迅速な返信を行わなければいけないので、三役のメール審議で対応したいと思う。

追加資料について近藤事務局長より説明

諫武理事：追加資料を規程に追加するように訂正する。

近藤事務局長：福岡県理学療法士会主催で企業がスポンサーでつく場合の金額設定について設定する必要があると思っている。色々、探したが金額設定がバラバラで参考にならなかった。今度、予防学会を開催される廣滋学術局長にも意見を伺いたい。地区の先生方からもスポンサーになりたいと言われたと耳にしているので早急に作成したいと思う。10月の理事会までに総務、事務局で再度検討したい。

諫武理事：企業が持っている規程にあわせた方が良いのか、こちらからいくらほしいと言うべきなのか。理事会で都度審議する方がいいのかと迷っている。

時吉理事：財務的にどの項目で処理ができるのか。例えば学会の書籍販売はどうしているのか。

西浦会長：学会の書籍販売は、お金を頂いていない。公益法人上、お金を頂くのは問題ないか。

諫武理事：それは大丈夫である。

時吉理事：貰いすぎたときの収支の対応を心配する。

永野理事：HPには今まで後援と共催、主催を無料にしていた。この規程が出来ると、協賛も無料にすると思われるので、広報規程の修正が必要になる。次の理事会で修正案を提出してもいいか。

西浦会長：修正を依頼する。

→継続審議

4. 平成30年度養成校意見交換会について（別紙：04）

平成 30 年度養成校意見交換会を別紙の企画・下記日程にて開催したい。

日 時：平成 30 年 11 月 24 日（土）予定

場 所：博多駅周辺（貸会議室）八重洲博多ビル貸会議室 予定

時 間：15：00～18：00

内 容：別紙参照

諫武理事より説明

→承認

5. 西日本豪雨災害に対する支援金の支出について（別紙：05、06、07）

先月発生した西日本豪雨災害に対して、日本理学療法士協会、自由民主党福岡県支部連合会より支援金の要請が来ている。福岡県理学療法士会として以下の金額を支援金として支出することをご審議いただきたい。

日本理学療法士協会 20 万円

自由民主党福岡県支部連合会 10 万円

諫武理事より説明

近藤事務局長：朝倉災害の際に福島県士会より 10 万円いただいた経緯があった。今回、協会が募金活動をしているのでそちらに県士会として 20 万円とした。自民党へは連盟が 5 万円であるため、規模の大きさを考えて、10 万円とした。

→承認

[財務部]

I. 事業

1. 事業実施時の物品搬入時の駐車場代実費負担について

県士会事業を実施する際、物品が多くなった際など車にて搬入を行い場合も多い。現在は搬入にかかる駐車場代の負担は個人ごとに支払っている交通費の中より支払いを行っていただいている。天神や博多など街中では駐車場代も高額になる場合もあるため、今後の事業における物品搬入に係る物品搬入の費用は事前申請（財務理事）にて実費支払いとする。

（流れ） 駐車場（物品搬入必要有）→該当理事より事務所へ事前連絡→搬入駐車場代立て替えにて領収書

→県士会事務所へ郵送→交通費支払い時に振り込み実施

諫武理事より説明

高橋社会局長：福岡支部の駐車場代が交通費を超えてしまったことがあったと推察できるので領収書で落とし

てほしい。事業によっては駐車場を確保している所もあるので、今まで困ったことは無かった。

諫武理事：今回、各支部にご意見を伺ったが、他の事業では駐車場代で困った意見は無かった。福岡支部なら

ではだと考えるので対応したい。

西浦会長：いつから可能か。

諫武理事：今日の理事会で承認を得られれば、今年度より対応可能である。駐車場代という予算を組んではないが、多いケースではないので、何とかしたいと思う。

西浦会長：さかのぼることは不可能か。

近藤事務局長：領収書があれば事務所で落とせるようにはできるが、証明のない過去の分は清算できない。

諫武理事：駐車場代に関しては事前に事務所にメールで連絡を頂きたい。領収書は個人で事務所に送って頂く
対応になる。

→承認

【学術局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[学術局]

1. 支部・地区研修会の現状と課題について（別紙：08）

学術局からの提案として

- 1) 支部研修会は、単位・ポイント付与研修会として、年間に計18回（土日開催）開催する。
- 2) 単位・ポイント付与研修会の講師案については学術局会議への提案を要請する。
- 3) 研修テーマは、7専門分野に沿ったものとし、年間に偏重が生じないように配慮する。
- 4) 同一講師が3支部で講義することも必要性を考慮する。
- 5) 症例発表会は各地区（8地区）にて下半期に2回ずつ開催する。
ただし、地区間の合同開催は妨げない。
- 6) 症例発表会の発表形式、書式、査読基準について将来的には支部間で統一する。
- 7) 一般研修会は北九州の3地区と福岡の3地区にて3回ずつ、筑後の2地区で2回ずつ開催。

以上について、現状を踏まえ、今後支部局と調整していきたい。

西浦会長：ここでは議論を行わず支部局と話し合われてはどうか。

岩佐支部局長：局長会議で検討したい。統括になるので、事務局に入ってもらって取り仕切ってほしい。

→継続審議

2. 県士会事業データを活用した発表（社会局）の抄録提出について（別紙：09、10）

北九州スポーツリハビリテーション研究会での口述発表(事例紹介)を目的に、添付の抄録が提出され、学術局で査読を行った。一部条件付きでコメントを返し、内容の具体化、倫理的配慮を要求した。発表の諾否についてご審議いただきたい。

永野理事：抄録を提出することも大事だが、事前に研究計画書を提出して、アンケート然り今後どのように活用するかを含めて検討があってもいいのではないか。第50回日本理学療法学会の抄録でも類似内容を発表されている。抄録を提出することも大事だが、事前に研究計画書を提出して、然るべきところに相談して、データを取って結果を出し、抄録を提出する流れを作るべきではないか。

高橋社会局長：今回は学会への登録ではなく、私的な研修会への発表であることを加味してほしい

廣滋学術局長：県士会のデータを発表するための手続き。県士会の活動のものをまとめて発表するための倫理的な手続きについて指摘をしている状況である。

永野理事：個人の会員がデータを管理することは倫理に反している。本来、事務所などで鍵のかかる場所で管理するべきではあると思う。個人にデータ管理を負担させてはいけないと思う。今回の演題を取り下げたいわけではなく、仕組み作りを検討してほしい

近藤事務局長：昨年の理事会で承認を得た規定がある。各部局で希望を提出→部長に承認→収録を事務所に提

出→査読委員提出→理事会。手続き上はマニュアルにのっとって実施していると理解している。
査読のほうで類似演題を指摘するべきなので、査読委員会が類似演題と指摘していないものと捉えている

廣滋学術局長：今抄録は査読委員会に提出していない。現在、学術局の理事で査読したところである。

→抄録は承認

学術局はデータ管理について再検討をすること。

3. 下半期学術スケジュールについて（別紙：11）

学術局、支部局、地域包括ケア推進局の下半期学術スケジュール一覧を作成した。

内容についてご審議いただきたい。

→廣滋学術局長より説明

単位、演題募集期間等について確認中。会員に分かりやすいことを明記することとした。場所が未決定のところは決定次第反映する。今月末にHP更新予定である。

→承認

[学会部]

1. 第28回福岡県理学療法士学会 講師について（別紙：12）

1) 特別講演と2) 教育講演の講師についてご審議いただきたい。

1) 特別講演

・第1候補

テーマ：「治療としてのリハビリテーション

～細胞レベルで変化させうるその可能性～（仮）」

講師：田島 文博 先生（和歌山県立医科大学 教授）

・第2候補

テーマ：「未定」

講師：中村 健 先生（横浜市立大学 リハビリテーション科学教室 教授）

・第3候補

テーマ：「運動療法の可能性（仮）」

講師：菊池 尚久 先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター 副センター長）

2) 教育講演

・第1候補

テーマ：「エビデンスに基づいた電気刺激治療と超音波治療（仮）」

講師：庄本 康治 氏（畿央大学大学院健康科学研究科教授、畿央大学健康科学部 理学療法学科 教授・学科長）

・第2候補

テーマ：「物理療法と運動療法併用の有効性（仮）」

講師：吉田 英樹 氏（弘前大学 准教授）

・第3候補

テーマ：「物理療法における疼痛管理（仮）」

講師：徳田 光紀 氏（平成記念病院 リハビリテーション科主任/畿央大学大学院健康科学研究科 客員研究員）

→音地理事より説明

テーマを運動器と物理療法とした

→承認

2. 第 28 回福岡県理学療法士学会 査読部への業務委託に関して

- ・今年度から学会演題の査読業務の一部を査読部へ委託したいと考える。
- ・現状の演題システム担当（林田部長）の役割として、
 - 1) 査読者へ査読依頼をかける（査読登録の依頼）
 - 2) 査読者がシステム登録をする（不備なく登録できているか確認）
 - 3) 演題募集終了
 - 4) 演題振り分け（分野別に査読者に割り振り．演題システムで自動的に割り振りが可能だが、昨年トラブルのあった演題登録した会員とその演題を査読する会員が同施設ではないか。分野が間違っていないかなどの確認）
 - 5) 振り分けた演題をそれぞれの査読者へ依頼
 - 6) 査読者から査読期間内に査読の受け取り
 - 7) 査読点数の集約
 - 8) 二次査読へ
 - 9) その他：HP 運用の対応・問い合わせ対応など
- ・上記の中で 1) ～ 7) までの作業を査読部へ委託し、学会部の演題システム担当としては二次査読からの対応と、HP 運用、システムの対応などにすると業務を明確化できるのではないかと考える。

→音地理事より説明

→承認

3. ポスター発表形式について（代議員総会より）

ポスター発表の発表形態に関して代議員より意見あり。

「国際学会などは全て自由討議である。発表形式では質疑の時間も少なく、声も聞こえないので発表形式よりも自由討議形式をとってみてはどうか。」

方法 1) 従来通り発表形式（発表 7 分，質疑応答 3 分）

方法 2) 自由討議形式（50～60 分）

★方法 3) 数分（3 分程度）の要約を発表×セッションの人数 残り 30 分程度を自由討議

方法 3) で進める方向を検討していきたい。

→音地理事より説明

→承認

[学術誌編集部]

1. 理学療法福岡 32 号 特集ページ 執筆者候補

テーマ：スポーツリハビリテーション

執筆者数予定：3名

候補1 梶村 政司 氏（日本理学療法士協会 常任理事 スポーツ支援推進執行委員会委員長）

執筆テーマ：東京オリンピック・パラリンピックに対する日本理学療法士協会の取り組み

【社会活動】

1983年～2008年 広島県理学療法士会 理事

2003年～2008年 広島県理学療法士会 会長

2007年～現在 日本理学療法士協会 理事

候補2 野原 英樹 氏（福岡リハビリテーション病院）

執筆テーマ：スポーツ障害に対するスポーツリハビリテーション

【社会活動】

2015年～ 福岡県理学療法士会社会局 公益事業推進部スポーツ関連事業部部長

中学バスケットボール選手障害予防教室担当

2018年～ 福岡県理学療法士会 スポーツ理学療法推進協力者

【スポーツ関連活動】

病院内でのスポーツ選手へのリハビリテーションおよびアスレチックリハビリテーション

主なトレーナー活動など

2005年～現在 高校野球チームメディカルトレーナー

2010年～2013年 大学野球チームメディカルトレーナー

2010年 福岡県高校ラグビー国体チーム トレーナー

2012年～現在 高校女子バスケットボールチームトレーナー

2017年～現在 中学女子バスケットボールチームトレーナー

候補3 三浦慶太郎 氏（さくら整形外科・内科・リハビリテーション科医院）

執筆テーマ：障がい者に対するスポーツリハビリテーション

【社会活動】

平成30年～ 福岡県理学療法士会 スポーツ理学療法推進協力者

【スポーツ関連活動】

車いすテニス北九州 OPEN

平成21年～平成28年大会の8回参加。平成23年～平成28年大会の6回は大会トレーナーとして参加。

車いすテニス JAPANOPEN

平成21年～平成29年大会の9回参加。平成23年～平成29年大会の7回は大会トレーナーとして参加。

海外選手へのサポート経験あり。

北九州マラソン

第1回～第5回大会（第5回大会は平成31年2月18日参加予定）の5回参加。

第3回～5回は理学療法士リーダーとして参加。

デフバスケットボール大会 県士会がサポートした第1回目の大会に当日リーダーとして参加。

県士会による障害者スポーツトレーナー研修会第1回受講

平成 28/29 年車いすテニス北九州 OPEN 事前講習会講師
平成 28/29 年車いすテニス JAPANOPEN 事前講習会講師
女子サッカーチームトレーナー（平成 22 年～平成 27 年）
男子バレーボール（V リーグ）トレーナー（3 試合）

→佐藤理事より説明

→承認

[学術研修部]

1. 専門理学療法研究会の開催日時、場所、講師・テーマについて（別紙：13）

日 時：平成 31 年 11 月（日）（講師の希望日程により検討）

第 1 部：9：30～12：40 第 2 部：13：30～16：40（9：00～受付）

場 所：麻生リハビリテーション大学校（予定）

定 員：200 名

テーマおよび講師（別紙 13 参照）

1) 第 1 部

・候 補 1

テーマ：「歩行評価の再考と治療計画」（仮題）

講 師：建内 宏重 氏（京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻 予防理学療法学講座（産学共同講座）特定准教授）

・候 補 2

テーマ：「下肢の運動機能障害に対する評価と治療の実践」（仮題）

講 師：工藤慎太郎 氏（森ノ宮医療大学大学院保健医療学研究科講師）

・候 補 3

テーマ：「下部体幹（腰部）の運動機能障害に対する評価と治療の実践」（仮題）

講 師：鈴木 勝 氏（千葉メディカルセンター リハビリテーション科）

2) 第 2 部

・候 補 1

テーマ：「肩関節の機能解剖と理学療法の展開」（仮題）

講 師：赤羽根良和 氏（さとう整形外科リハビリテーション科 室長）
専門理学療法士（運動器）

・候 補 2

テーマ：「肩関節障害の評価と臨床展開」（仮題）

講 師：村木 孝行 氏（東北大学病院リハビリテーション部）

・候 補 3

テーマ：「骨折の評価と機能解剖学的運動療法（上肢）」（仮題）

講 師：松本 正知 氏（桑名西医療センター 整形外科 リハビリテーション室主任）

→宇戸理事より説明

→承認

2. 平成 31 年度理学療法士講習会（応用編）の企画案について（別紙 13 参照）

平成 31 年度理学療法士講習会（応用編、2 本/年）の開催

1) 内部障害理学療法 2) 予防・産業理学療法 3) 運動器理学療法 4) スポーツ理学療法
5) 物理療法から 2 分野の領域について組み合わせによる研修会を開催したい。

・理学療法士講習会（応用編）企画案 1

内部障害系理学療法と予防理学療法を組み合わせで開催。

日 時：平成 31 年 9 月頃を予定

定 員：40 名

・理学療法士講習会（応用編）企画案 2

スポーツ整形と物理療法を組み合わせで開催。

日 時：平成 31 年 10 月頃を予定

定 員：40 名

※上記、2 つの企画で理学療法士講習会を開催したい。

企画案の承認後にテーマ、講師について提出予定とする。

→宇戸理事より説明

熊谷：募集人数が少ないので恩恵を受けられる会員を増やすような検討できないか

宇戸：協会の指定があり難しい

→承認

3. 第 102 回福岡県理学療法士会学術研修大会企画案、講師・テーマについて

第 102 回学術研修大会の企画・スケジュール案と講師・テーマについてご審議いただきたい。

（別紙：14）

1) 企画案、スケジュール案について

日 時：平成 31 年 8 月を予定

場 所：アクロス福岡 国際会議場、大会議室、研修室 2 もしくは円形ホール

トピックス①：業者（例：義肢装具系や医療機器メーカー）へ打診し、機器の展示やセミナーを開催する。

トピックス②：協会の各分科学会へ講演依頼を行う。

教育系や物理療法、その他福岡県で開催されていない研修会など。

第102回 福岡県理学療法士会学術研修大会 日程表

	国際会議場：4階	大会議室：7階	セミナー室2(70名)
9:00 ～ 9:50	受 付		
10:00	開 会 式 開会の挨拶（永友副会長） 会長挨拶（西浦会長） 来賓挨拶	X	
10:30	会場移動、予備時間		
10:40	学術研修大会記念講演 テーマ：「」 講 師： 先生	市民公開講座 テーマ：「」（仮題） 講 師： 先生	X
11:40	移動・休憩・軽食		
12:00	特別講演Ⅰ（神経系領域） テーマ：「」 講 師： 氏	特別講演Ⅱ（教育・基礎系領域） テーマ：「」 講 師： 氏	トピックス①
13:30	移動・休憩・軽食		
13:50	特別講演Ⅲ（運動器領域） テーマ：「」 講 師： 氏	特別講演Ⅳ（内部障害系領域(呼吸)） テーマ：「」（仮題） 講 師： 氏	トピックス②
15:20 ～ 15:30	閉 会 式		

2) 講師およびテーマについて

(1) 特別講演Ⅰ（神経系領域）

・候 補 1

テーマ：「姿勢制御と歩行の神経生理学」（仮題）

講 師：高草木 薫 先生（旭川医科大学 医学部 脳機能医工学研究センター 教授）

・候 補 2

テーマ：「脳卒中における装具療法と歩行」（仮題）

講 師：山本 澄子 氏（国際医療福祉大学大学院 教授）

・候 補 3

テーマ：「ニューロリハビリテーション」（仮題）

講 師：信迫 悟志 氏（畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター）

(2) 特別講演Ⅱ（教育・基礎系領域）

・候 補 1

テーマ：「理学療法研究のデザイン」（仮題）

講 師：対馬 栄輝 氏（弘前大学大学院保健学研究科）

・候 補 2

テーマ：「理学療法研究のデザイン」（仮題）

講師：網本 和 氏

（首都大学東京健康福祉学部理学療法学科人間健康科学研究科理学療法科学域）

・候 補 3

テーマ：「理学療法研究のデザイン」（仮題）

講師：高倉 保幸 氏（埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科 教授）

（3）特別講演Ⅲ（運動器領域）

・候 補 1

テーマ：「変形性膝関節症に対する治療戦略」（仮題）

講師：山田 英司 氏（総合病院回生病院関節外科センター附属理学療法部 部長）

・候 補 2

テーマ：「変形性膝関節症に対する治療戦略」（仮題）

講師：木藤 伸宏 氏

（広島国際大学 総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科 教授）

・候 補 3

テーマ：「変形性膝関節症に対する治療戦略」（仮題）

講師：園部 俊晴 氏（コンディショニング・ラボ所長）

（4）特別講演Ⅳ（内部障害系（呼吸器）領域）

・候 補 1

テーマ：「呼吸リハビリテーションの実際」（仮題）

講師：石川 朗 氏（神戸大学大学院保健学科研究科 保健学専攻 教授）

・候 補 2

テーマ：「呼吸ケアチーム医療と理学療法士の役割」（仮題）

講師：鵜澤 吉宏 氏

（亀田総合病院リハビリテーション室副室長/リハビリテーション事業 管理部教育担当
室長）

・候 補 3

テーマ：「地域で取組む COPD 対策 ～認知度向上と早期発見を目指して～」（仮題）

講師：玉木 彰 氏（兵庫医療大学 リハビリテーション学部理学療法学科 教授）

（5）市民公開講演

・候 補 1

テーマ：「健康寿命と肺の健康（仮題）」

講師：津田 徹 先生（医療法人恵友会霧ヶ丘つだ病院 理事長兼院長）

・候 補 2

テーマ：「ロコモを知ろう（仮題）」

講師：志波 直人 先生（久留米大学医学部整形外科学教室）

→宇戸理事より説明

西浦会長：慶尚南道の招待は来年行わない。介護分野の研修も検討してほしい

→承認

[教育研修部]

1. 新人研修会の開催場所および講師について

平成 30 年度新人研修会の開催企画案を以下の様に検討しています。日時、場所および講師についてご審議いただきたい。

日 時：平成 31 年 1 月 13 日（日）10：20～16：40（10：00～受付）

時 間	内 容	講師および所属
10：00～	開場 受付開始	
10：10～10：20	オリエンテーション	
10:20～11：20	A-1 理学療法と倫理	近藤 直樹 氏（北九州市立総合療育センター）
11：30～12：30	A-2 協会組織と生涯学習システム	西浦会長 健蔵 氏（甘木中央病院）
12：30～13：20	昼 食	
13：20～14：20	A-3 リスクマネジメント	久原 聡志 氏（産業医科大学若松病院）
14：30～15：30	A-4 人間関係および接遇	音地 亮 氏（新水巻病院）
15：40～16：40	A-5 理学療法における関連法規	遠藤 正英 氏（桜十字福岡病院）

場 所：パピヨン 24 ガスホール

→宇戸理事より説明

→承認

【社会局】

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

[職能部]

1. 介護業務における介護職員の腰痛予防研修会（福岡県地域医療介護総合確保基金補助金）について
（別紙：15、16、17）

11 月 4 日（日）に昨年度からの継続事業として表記の研修会を開催する予定である。今年度はワークショップを含む研修会を予定しており、ファシリテーターを公募して育成事業の一つとしたいと考えている。公募の要項においてご審議いただきたい。

久原理事より説明

音地理事：ファシリテーターの定員が 5-6 名であるので応募多数の場合、選考基準をどうする予定か。また、「応募多数の場合こちらで選考します」と書いた方が良いと思う。

久原理事：ファシリテーターを 5-6 名とした理由は、参加者人数を 80 名としたからである。複数の資格を持っている人を優先し、社会局で検討し選考したい。

松崎地域包括ケア推進局長：この内容的では、介護職にとって難しいのではないか。また予算 1 回で 80 万円を使い切れるか？

久原理事：予算は50万円の予定である。今回ファシリテーターを養成することも検討している。講師とファシリテーターの打ち合わせも数回行う予定である。講師はできるだけわかりやすく話してくれると思っている。ワークショップにすることで、現場での考え方を培うことができると考える。

西浦会長：介護職への研修会だけに注目せず、ファシリテーターを育成するような発展的なことも一緒に考えてほしい。

高橋社会局長：研修会だけに注目せず渉外的なところも考えた方がいいか。

山内理事：アンケートの内容は後から数字で検証できるような内容であれば、渉外活動にも役立つと思うので検討してほしい。

久原理事：人材バンクとしてもファシリテーターの先生にお願いしたいと思っている。

熊谷理事：ファシリテーター希望届に関して資格欄に記載することが明確でないので、認定番号など指摘したほうがよくないか。

近藤事務局長：11月開催で間に合うか。ファシリテーターの先生方はある程度知識があると考えますが、知識のすりあわせなどを考えると、準備期間が短いのではないかと。慌てるくらいなら時期をずらしてでも、練ったものを実施すべき。

久原理事：6月時点で県に提出しているのが難しいかと思う。

近藤事務局長：ファシリテーターを出来る人はプロ意識が高く、それぞれに活躍されていると考えられる。彼らの水準あわせや摺り合わせ、まとめ、形作りに時間がかかるのではないかと。福岡県へ問い合わせしてずらしたいと言ってみてはどうか。

松崎地域包括ケア推進局長：すでに6月に開催日程を提出しているのが難しいと思う。

久原理事：すぐに公募していいか。

近藤事務局長：早めの締め切りになるので早急に対応してほしい。

→承認

【その他事業 会員の福利厚生に関する事業】

[職能部]

1. 自由民主党福岡県支部連合会への平成31年度福岡県に対する要望事項の提出について

(別紙：18、19)

昨年同様であれば、11月頃に福岡県に対する要望事項の提出を求められる可能性がある。会員からの意見を踏まえて提出したいと考えており、9月初旬から10月まで公募を行いたい。

久原理事より説明

永野理事：職能部として要望事項を事前に吸い上げておくことは良いことと思う。自民党連合会に提出する如何にかかわらず、必要なことと思われる。自民党の団体からもし「要望事項がありますか」と問われたら、提出すれば良い。

西浦会長：どのように会員に聞いたらいいのか。

永野理事：連盟から今年度の対応について自民党に確認していただいたらどうか。先方から「予定がある」と返答があったときに動いてはどうか。

近藤事務局長：連盟に確認してもらったあと、事務所で文書内容を再度見直すようにする。

→承認

【支部局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

[北九州2地区]

1. 下半期講師選定について

日 時：平成30年11月15日（木）18：30～21：30

場 所：製鉄記念八幡病院 4F 講堂

テーマ：「心不全患者における病態・検査の見方/リハビリテーションの実際」

定 員：250名

講 師：藤島慎一郎 先生（製鉄記念八幡病院）

略 歴：昭和63年3月 熊本大学医学部卒業
同年4月 九州大学第二内科入局
同年6月 済生会八幡総合病院 内科 研修医
平成元年6月 九州大学医学部附属病院 第二内科 研修医
平成2年6月 聖マリア病院 脳血管内科 医員
平成3年4月 新日鉄八幡製鉄所病院 内科 医員
平成4年4月 九州大学医学部第二内科 研究生、医員
平成6年4月 公立学校共済組合九州中央病院 内科 医員
平成7年1月 九州大学医学部第二内科 研究生、医員
平成11年2月 社会保険小倉記念病院 循環器科 修練医
平成12年4月 公立学校共済組合九州中央病院 内科 医長
平成14年4月 同 臨床検査科部長
平成19年4月 北九州市立若松病院 内科 部長
平成20年6月 新日鉄八幡記念病院（現 製鉄記念八幡病院）
循環器科 主任医長
平成24年4月 同 循環器内科 担当部長
平成27年4月 同 循環器・高血圧内科部長 現在に至る

学 位：平成14年6月 医学博士

所属学会：日本内科学会（総合内科専門医）

日本循環器学会（専門医）

日本高血圧学会（専門医、評議員）

日本心臓リハビリテーション学会

（心臓リハビリテーション指導士、九州地区評議員）

日本心血管インターベンション治療学会

→山内理事より説明

会員外講師について承認を求めた。

→承認

【法人事業】

[支部局]

1. 事業見直しについて

各支部理事、地区部長、支部学術担当者、社会職能担当者、総務担当者が支部より各局会議に出席している。しかし、事業計画内容は支部に一任されている事業が多く、特に研修会は例年問題視されており、支部間の差が解決されていない。

ここで支部事業の管理を各局に管轄にしてはどうか？ご審議いただきたい。

→岩佐支部局長より説明

三役、局長会議で煮詰めていく方針である。

→継続審議

2. 各支部運営委員増員について

連盟との連携強化を目的とし以下の会員を各地区運営委員に追加したい。

- ・福岡1地区 春口幸太郎 氏（福岡和白病院）
- ・福岡2地区 橋本 優子 氏（うらた整形外科クリニック）
- ・福岡東地区 山坂 誠一 氏（北九州津屋崎病院）
- ・**筑後1地区 原 孝太 氏（朝倉医師会病院）**
- ・筑後2地区 本田 晴彦 氏（星子ひさし整形外科）
- ・北九州1地区 ※連絡担当者 永野理事
- ・北九州2地区 志田啓太郎 氏（介護老人保健施設 あやめの里）
- ・筑豊地区 大原 常豊 氏（岡部内科循環器内科医院）

→岩佐支部局長より説明

岩佐支部局長：北九州2地区の志田先生が北九州2地区の部長であることと、福岡2地区の橋本先生の所属が福岡1地区であることがわかったが、このまま推薦しても良いか。

近藤事務局長：部長と運営委員の兼任は問題ない。会員が所属する施設で活動を行うことを定款に記載しているので、事務局としては橋本先生の活動について難しいという判断である。橋本先生の住まいが福岡2地区で活動を支援して下さる気持ちはありがたいと思っている。

宇戸理事：連盟に依頼をしてもらえば推薦者を検討できる。

岩佐支部局長：連盟の活動が選挙時期に集中しやすい現状に対し、支部の研修会などにも運営委員として参加して、連盟活動をアナウンスしていただくように運営委員を追加依頼した経緯がある。福岡2地区に対しては白石先生に相談することとする。

→承認

【地域包括ケア推進局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

[地域包括ケア推進局]

1. 地域包括ケア推進リーダースキルアップ研修会について（別紙：20）

日 時：平成31年1月14日（月）（4.5時間予定）

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：(別紙参照)

2. 介護予防推進リーダースキルアップ研修会について (別紙：21)

日 時：平成 31 年 2 月 10 日 (日) (4.5 時間予定)

場 所：小倉リハビリテーション学院

内 容：(別紙参照)

→今村理事より説明

講師が作業療法士であるため承認をいただきたい。

→承認

【各委員会】

【50 周年記念式典準備委員会】

【法人事業】

1. 公益社団法人福岡県理学療法士会 50 周年記念市民公開講座・式典・祝賀会について

来年度開催予定の 50 周年記念事業として、委員会で検討を行った。別紙 22 の内容の実施可否についてご審議いただきたい。(別紙：22)

1) 50 周年記念式典市民公開講座・式典・祝賀会

2) 福岡県理学療法士会新ロゴマーク募集

3) 福岡県理学療法士会キャッチコピー募集

→廣滋学術局長より説明

高橋社会局長：社会局でベストを作っているが、ロゴができるのであれば遅らせたほうがいいのか

西浦会長：必要ないかと思う

音地理事：広報の仕方はどうするのか。プロアマ問わずなら一般の方にも広報してはどうか。

廣滋学術局長：考慮できる点だが理学療法士のロゴなので、結局理学療法士の応募が多いのではないかと考える。

→承認

【選挙管理委員会】

【法人事業】

1. 役員選挙スケジュールについて (別紙：23)

田代委員：新水巻病院の秋先生が今期より委員長になった。本年度は理事選挙実施になる。平成 31 年 2 月 24 日開票を目指して設定した。12 月告示、平成 31 年 1 月立候補受付、2 月投票開始の予定とした。前回より早めた理由は、4 月から職場内外での変化が生じる中、前回は申し送りなどの準備期間が無かったため、その期間を持たせるためである。

山内理事：代議員選挙が 11 月にあるのか。

田代委員：今回、代議員選挙はない。昨年の総会で 1 年間延期を依頼した。

永野理事：広報誌は何を指していますか？

田代委員：「ぴしゃっと」を考えている。

永野理事：「ぴしゃっと」の広報誌は3月と9月刊行のため掲載は可能であるが、大丈夫か。

田代委員：9月に掲載することは可能か？

永野理事：原稿さえいただければ可能である。目立たせたいなら裏表紙の利用なども検討できる。12月告示に合わせて発行することは難しいので、12月の告示にはFax通信などを使用されて、9月の「ぴしゃっと」には選挙が開催されることを伝えてはどうか。

熊谷理事：投票は前回同様IDを使用することになると思うが失くしている会員もいると思われる。

田代委員：前回のIDは使用せず、新しく発行する予定である。

松崎地域包括ケア推進局長：昨年より一か月早める理由をもう一度教えてください。

田代委員：選挙での理事交代に対して、4月に代わって6月に始動するのでその準備期間が長い方がいいと考えた。

松崎地域包括ケア推進局長：総会の承認を得なければ動けないので、メリットはどうか。

西浦会長：予算としては2月に終わったほうが事務所は助かるか。

田代委員：2月に県学会があるため、そこで選挙管理委員として活動したら投票率が上がるのではないかという意見もあった。

音地理事：IDとPasswordのはがき発送が早くて失くす方が多くて再発行されていた経緯があるので対策を立てられないか？

近藤事務局長：立候補者ははがきのIDとPasswordを用いてサイトにログインするので、はがきの発送には期間が必要である。

西浦会長：文字を大きくするなどの対応ができるか。

熊谷理事：年末年始を挟んでいるが、システムトラブルがあったら対応が困るので、年末や期間を延ばすなどの対応が必要ではないか？

田代委員：規程では日数で○日以上になっているので、短くはできないが長くすることは可能である。年末年始を外す案については持ち帰って検討したいと思う。

西浦会長：投票は会員の権利なので、HPなどの広報でも目立つようお願いします。

【報告事項】

【会長】

1. 平成30年度第1回福岡県理学療法士会作業療法協会言語聴覚士会連絡協議会世話人会

日 時：平成30年5月7日（月）19：00～20：40

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：1. 平成29年度事業報告および平成30年度事業計画

- 1) 地域医療介護総合確保基金にかかる補助事業

(1) 平成29年度事業報告

(2) 平成30年度事業計画

- 2) 福岡県訪問リハビリテーション実務者研修会

(1) 平成29年度事業報告

(2) 平成30年度事業計画

3) 災害対策

- (1) 福岡県「災害時における福祉避難所等への専門人材の派遣に係る協定」の活動状況
- (2) 福岡 JRAT の活動状況
- (3) 日本 PT 協会、日本 OT 協会、日本 ST 協会との連携状況

2. 任期満了による世話人会代表の交代

OT 志井田会長から PT 西浦会長へ交代

出務者：【福岡県理学療法士会】西浦、永友、近藤、諫武、松崎、高橋

【福岡県言語聴覚士会】佐藤、佐々木、原田、灘吉、大内田、吉永

【福岡県作業療法協会】志井田、竹中、濱本、中川、深井、福田、佐野

3. 第 53 回 日本理学療法学会研修大会 in 茨城 2018 初級管理者中央研修会

日 時：平成 30 年 5 月 25 日（金）9：30～12：30、 14：30～17：30

場 所：つくば国際会議場

出務者：西浦

4. 第 2 回 士会機能強化推進執行委員会

日 時：平成 30 年 5 月 27 日（日）13：00～15：00

場 所：田町カンファレンスルーム

出務者：西浦

5. 北九州市すこやか住宅推進協議会平成 30 年度通常総会・交流会

日 時：平成 30 年 5 月 31 日（木）18：00～20：30

会 場：小倉リーセントホテル

出務者：西浦

6. 平成 30 年度第 1 回九州ブロック各県理学療法士会長会議

日 時：平成 30 年 7 月 14 日（土）15：00～17：30

場 所：howffice net 会議室 博多駅前店 B 会議室

出席者：福岡；西浦 健蔵（会長）、近藤 直樹（事務局長）

長崎；大山 盛樹（会長）、山下潤一郎（副会長）、塩塚 順（前会長）

熊本；坂崎 浩一（会長）、大脇 秀一（事務局長）、北里 堅二（前会長）

大分；市川 泰朗（会長）、大塚 治長（事務局長）、河野 礼治（前会長）

佐賀；片渕 宏輔（会長）、大川内直木（副会長）

宮崎；中田 洋輔（会長）、吉田 敏朗（副会長）、高月 航（事務局長）

沖縄；池城 正浩（会長）、小嶺 衛（副会長）

鹿児島；梅本 昭英（会長）、平名 章二（副会長）

事務局：平名 章二（事務局長）、赤崎 昭朗（鹿児島）

報告事項：①第 29 年度九州ブロック会監査報告

②九州理学療法士・作業療法士合同学会 2018in 沖縄 進捗状況（沖縄）

③九州理学療法士学会大会 2019 in 鹿児島 黎明学会 進捗状況（鹿児島）

④九州ブロック事務局長会議（沖縄）

⑤九州ブロックスポーツ大会報告（熊本）

⑥各県会長人事について（長崎・大分・熊本）

⑦九州ブロック事務局長退任について（鹿児島）

議 題：①合同学会 40 周年式典について（沖縄）

②災害時の対策と JRAT 九州連携について（沖縄）

③九州ブロック事務局について

7. 横倉義武日本医師会会長就任祝賀会

日 時：平成 30 年 7 月 26 日（木）19：00～21：00

場 所：グランドハイアット福岡

出務者：西浦

8. 第 1 回福岡県介護人材確保・定着促進協議会

日 時：平成 30 年 7 月 27 日（金）14：00～16：00

場 所：福岡県庁

出務者：西浦

9. 福岡県理学療法士連盟拡大役員会議

日 時：平成 30 年 7 月 28 日（土）15：30～17：00

場 所：桜十字福岡病院

出務者：西浦

追記：2018 年 11 月 17-18 日に 4 年に一度のスポーツ大会が熊本で開催される。支部局主体で参加者を集めてほしい。参加者は 10 名程度。内容はグラバーバレーボールと聞いている。

【事務局長】

1. 平成 30 年度九州ブロック事務局長会議

日 時：平成 30 年 7 月 14 日（土）13：00～15：00

場 所：howffice net 会議室 博多駅前 C 会議室

出席者：事務局 赤崎 昭朗（事務局長）
福岡県 近藤 直樹（事務局長）
佐賀県 坂井 沙織（事務局担当理事）
長崎県 小無田彰仁（事務局長）
熊本県 大脇 秀一（事務局長）
大分県 大塚 治長（事務局長）
宮崎県 高月 航（事務局長）
鹿児島県 平名 章二（副会長・事務局長）
沖縄県 城間 定治（事務局長）
オブザーバー 池城 正浩（九州ブロック副ブロック長）

議 題：①各県からの現況報告

②各県への質問および確認事項

○備品管理 ○表彰規程の整備 ○支部機能 ○協会指定管理者の管理

○助成金事業への参画方法 ○ICT の活用 ○収益事業への取り組み

○会費未納への対応 ○財務管理体制の整備 ○広報方法（研修案内・研修スケジュール）

- SNS の活用 ○役員報酬規程の整備 ○事務所職員・役員の研修（教育体制）
- 人材活用（育休中・シニア会員） ○会員名簿の作成 ○災害時のマニュアル

③平成 30 年度都道府県事務局長会議への質疑について

2. 平成 30 年度第 1 回九州ブロック各県理学療法士会長会議

日 時：平成 30 年 7 月 14 日（土）15：00～17：30

場 所：howffice net 会議室 博多駅前店 B 会議室

※詳細は会長報告事項を参照

3. 都道府県理学療法士会事務局職員研修会

日 時：平成 30 年 7 月 21 日（土）14：00～17：30

7 月 22 日（日）9：30～12：30

場 所：田町カンファレンスルーム

内 容：事務局職員として課題・次期システムについて・意見交換会

出務者：中山、長田

4. 後援名義一覧（別紙：24）

【事務局】

【公益事業 2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[組織部]

1. アプリ「福岡理学ナビ」

平成 30 年 6 月 12 日（火）利用開始

2. メンタルヘルスアンケート調査

平成 30 年度内に実施予定にてアンケート用紙作成中。

3. 託児利用後の利用者アンケート

アンケート結果を集計して、HP に掲載予定。

4. フォトコンテスト

県士会会員の応募によるフォトコンテスト実施を検討中。

コンテスト結果を HP（及びアプリ）に掲載および HP（アプリ）イメージ写真として活用も検討中。

【法人事業】

I. 事業

[総務部]

1. 平成 30 年度新人オリエンテーション（筑後支部）

日 時：平成 30 年 5 月 6 日（日）9：00～12：00

場 所：ホテルニュープラザ久留米

参加者：94 名

出務者：西浦、永友、廣滋、久保田、岩佐、福田、今村、遠藤、諫武、脇坂（教育部）、池田（総務部）

2. 平成 29 年度事業報告提出作業（福岡県）

日 時：平成 30 年 6 月 26 日（火）19：00～19：30

場 所：県士会事務所

出務者：諫武、平原、中山

II. 関係会議

1. 第 1 回総務部 WEB 会議

日 時：平成 30 年 5 月 10 日（木）18：00～19：15

出務者：諫武、平原、加藤、池田、池永、野中

2. 管理者ネットワーク構築のための準備会議

日 時：平成 30 年 5 月 16 日（水）19：00～20：30

場 所：福岡青洲会病院

出務者：諫武、泉、今村、岩佐、亀田、山内、安、福田

3. 定時総会事前打合せ会議

日 時：平成 30 年 5 月 23 日（月）18：30～19：30

場 所：福岡青洲会病院

出務者：平原、嶋邨

4. 定時総会事前打合せ会議

日 時：平成 30 年 6 月 4 日（月）19：00～20：30

場 所：福岡青洲会病院

出務者：平原、嶋邨、諫武

5. 福岡 JRAT ミーティング

日 時：平成 30 年 7 月 12 日（木）19：00～20：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

出務者：永友、平原

6. 第 2 回総務部 WEB 会議

日 時：平成 30 年 7 月 30 日（月）19：00～20：15

出務者：諫武、平原、加藤、池田、池永

→諫武理事より説明

【学術局】

【公益事業 1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[学術局]

1. 県士会ホームページ「学術局コンテンツ」作成について

内容：1) 学会・研修会情報、理学療法福岡の情報（投稿）タブを設置

2) 時系列で学術情報をリスト表示

今後、総務部と相談して進める。

2. 平成 30 年度学術局マニュアル作成

3. 平成 30 年度九州ブロック教育・学術担当者会議

日 時：平成 30 年 8 月 4 日(土) 15:00～17:00

会 場：TKP 博多駅筑紫ロビジネスセンター 9 階 第 904 会議室

出席者一覧（敬称略）

福岡県士会 廣滋 恵一

佐賀県士会 初木 丈史 竹井 和人

大分県士会 武田 知樹 中野 将行

長崎県士会 浦川 純二 志岐 浩二 池田 章子

熊本県士会 坂田 大介 大橋 妙子

宮崎県士会 竜田 庸平 田村 幸嗣

鹿児島県士会 大重 匡 生駒 成亨

沖縄県士会 末吉 恒一郎 新崎 義人

質問事項：学会参加費に関して（福岡）

福岡県では、学会参加費を徴収していないが、他県ではどうか？

佐賀：会員 1,000 円、非会員 10,000 円、他県 2,000 円

大分：会員 2,000 円、大分県地域リハビリテーション研究会所属団体会員 2,000 円、
非会員理学療法士 4,000 円、学生 500 円、一般 2,000 円

長崎：会員 2,000 円、非会員 5,000 円

熊本：会員 1,000 円、非会員 2,000 円

宮崎：会員（事前）1,000 円、会員（当日）2,000 円

鹿児島：会員 1,000 円、非会員 10,000 円、他職種 2,000 円

沖縄：会員 1,000 円、非会員 2,000 円

→廣滋学術局長より九州ブロック教育・学術担当者会議の内容を説明。

[研究助成審議会]

1. 研究助成 HP 案内

平成 30 年 5 月 30 日より HP にて案内開始（締め切り 12 月 14 日）

[学会部]

1. 第 28 回福岡県理学療法士学会 テーマについて

「レガシーの認識と創新 ―求められる運動療法と物理療法―」

2. 学会長公募中 期間：平成 30 年 6 月 1 日（金）～平成 30 年 7 月 31 日（火）

今後の予定

演題募集 : 平成 30 年 8 月 1 日（水）～平成 30 年 8 月 31 日（金）

延長期間（予定） : 平成 30 年 9 月 1 日（土）～平成 30 年 9 月 20 日（木）

演題振り分け（予定） : 平成 30 年 9 月 21 日（金）～平成 30 年 9 月 27 日（木）

査読期間（予定） : 平成 30 年 9 月 28 日（金）～平成 30 年 10 月 9 日（火）

3. シンポジウム・大会長基調講演・新人教育プログラム単位修得セミナーのいずれかを検討中 （次回具体案を提示予定）

[学術研修部]

1. 第101回福岡県理学療法士会学術研修大会 司会について

記念講演 10:40～11:40

テーマ:「Foot Core Stability」

講師: Jang Jung-Jae 先生 (ヌール・バルン運動センター長)

司会: 平川 善之 氏 (福岡リハビリテーション病院/福岡リハ整形外科クリニック 課長)

特別講演Ⅰ (神経系領域) 12:00～13:30

テーマ:「歩行運動の再学習～歩行運動解釈と再学習の理論的背景～」

講師: 大畑 光司 氏 (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)

司会: 玉利 誠 氏 (国際医療福祉大学 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究所 准教授)

特別講演Ⅱ (地域・予防領域) 12:00～13:30

テーマ:「地域の中で必要とされる理学療法士像～連携のシンカと課題について～」

講師: 竹村 仁 氏 (臼杵市医師会立コスモス病院リハビリテーション部)

司会: 竹下 真大 氏 (リハビリ訪問看護ステーションすばる 代表取締役)

特別講演Ⅲ (運動器領域) 13:50～15:20

テーマ:「肩関節疾患の評価と臨床展開」

講師: 勝木 秀治 氏 (関東労災病院 リハビリテーション科 主任)

司会: 宇戸 友樹 氏 (麻生リハビリテーション大学校 専任教員)

特別講演Ⅳ (内部障害系領域) 13:50～15:20

テーマ:「心腎連関を意識したリスク管理と包括的リハビリテーション」(仮題)

講師: 斉藤 正和 氏 (日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院理学療法科 科長)

司会: 島添 裕史 氏 (製鉄記念八幡病院 リハビリテーション部)

市民公開講座

テーマ:「はいせつケアリハビリテーション」(仮題)

講師: 中島のぶよ 先生 (医療法人社団 邦生会 高山病院 泌尿器科 医師)

司会: 熊丸 真理 氏 (麻生リハビリテーション大学校 専任教員)

II. 関係会議

[学術局]

1. 第1回学術局会議

日時: 平成30年6月18日(月) 19:00～22:00

場所: 麻生リハビリテーション大学校

出務者: (理事) 廣滋、音地、佐藤、宇戸、岩佐、山内、遠藤

(部長) 綾部、林田

[学会部]

1. 第1回学会部会議

日時: 平成30年5月2日(水) 19:00～21:30

場所: 新吉塚病院

内 容：学会役割決め、講演講師について、学会テーマについて

出務者：林田、富澤、山口、吉田、丹生、音地

[学術研修部]

1. 第2回学術研修部会議

日 時：平成30年6月13日（水）19：00～21：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：専門理学療法研修会、第102回福岡県理学療法士会学術研修大会、平成30年度理学療法士講習会

出務者：山口、長谷川、國友、白川、丸山、中野、野元、宇戸

[教育研修部]

1. 第1回教育研修部会議

日 時：平成30年5月31日（水）19：00～20：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：平成31年度事業確認、新生涯学習システム・指導者要件について

- ・理学療法士講習会について

平成30年度理学療法士講習会（平成30年7月22日開催分）

今後のスケジュールおよび講師との調整方法など確認

平成31年度理学療法士講習会のテーマ、講師案の提出期限確認

- ・新人研修会

平成30年度新人研修会の開催場所の確認

A1～A5 講師案について提出期限の確認

出務者：岡本、岡、川口、河上、宇戸

【社会局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[職能部]

1. 平成30年度学校保健等教育関連理学療法研修会

日 時：平成30年7月29日（日）9：00～12：00

場 所：福岡医療専門学校

テーマ：「学校保健領域における理学療法士の役割と可能性」

講 師：大工谷新一 氏（エムスリードクターサポート株式会社 日本理学療法士協会 理事）

司 会：中田 浩一 氏（田川新生病院）

参加者：66名（学校関係者1名含む）

出務者：麻生、緒方、熊谷、吉村（直）、久原

II. 関係会議

[社会局]

1. 第2回社会局会議

日 時：平成30年7月19日（木）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：上半期事業の振り返りおよび下半期事業確認

出務者：高橋、久保田、熊谷、久原

[職能部]

1. 第1回職能部会議

日 時：平成30年5月11日（金）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：学校保健等教育関連理学療法研修会、産業理学療法研修会、介護保険関連施設等従事者研修会
について

出務者：麻生、稲富、緒方、白石、竹下、吉村（直）、吉村（美）、久原

2. 第2回職能部会議

日 時：平成30年6月26日（火）19：00～21：00

場 所：あおぞらの里古賀訪問看護ステーション

内 容：平成30年度訪問リハビリテーション実務者研修会について

出務者：久原、竹下、永島

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[公益事業推進部]

1. 環境再生保全機構との事業連携について

公害健康被害予防事業 COPD 啓発事業に関して会員より提案依頼があり現時点での内容を報告する。

2. ベスト作成について

前回2社の見積もり・サンプル提示。サイズ展開がF-XLまでであったため、業者と交渉中である。

1) カラーズラボ：それ以上のサイズ展開なし、インターネット上の他業者製品使用不可、持ち込み不可

2) WEARMAGIC：他製品を提案頂くも緑色なし、インターネット上にある製品を使用可能か交渉中。

持ち込み可（追加料金要 1着500円）

→熊谷理事より説明

WEARMAGICに決定した

II. 関係会議

[社会局]

1. 第2回社会局会議

日 時：平成30年7月19日（木）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：上半期事業の振り返りおよび下半期事業確認

出務者：高橋、久保田、熊谷、久原

[公益事業推進部]

1. 第2回公益事業推進部会議

日 時：平成30年6月14日（木）19：00～21：00

場 所：製鉄記念八幡病院

内 容：体力測定会内容検討、WEB会議について

出務者：奥野、鬼田、田代、松垣、熊谷

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

I. 事業

[公益事業推進部]

1. 飯塚国際車いすテニス大会

日 時：平成30年5月14日（月）～平成30年5月19日（土）9：00～17：00

場 所：筑豊ハイツ

内 容：選手のコンディショニング調整

利用者：延べ255名（14日：58名、15日：60名、16日：44名、17日：50名、18日：35名、19日：8名）

出務者：延べ63名（14日：8名、15日：13名、16日：13名、17日：13名、18日：9名、19日：7名）

2. 平成30年度第1回障害者スポーツ研修会

日 時：平成30年6月24日（日）9：00～13：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

テーマ：「スポーツ傷害の基礎」

講 師：佐藤 孝二 氏（久留米大学医療センター）

参加者：25名

出務者：下田、長和、久保田

3. バasketボールに関わる障害（傷害）予防事業事前講習会

日 時：平成30年6月30日（土）15：00～18：00

場 所：まえだ整形外科 博多ひざスポーツクリニック

テーマ：「傷害予防事業の進行方法と実技講習」

講 師：佐藤 孝二 氏（久留米大学医療センター）

野原 英樹 氏（福岡リハビリテーション病院）

参加者：21名

出務者：嶋田、森田

II. 関係会議

[社会局]

1. 第2回社会局会議

日 時：平成30年7月19日（木）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院
内 容：上半期事業の振り返りおよび下半期事業確認
出務者：高橋、久保田、熊谷、久原

【支部局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[福岡支部]

1. 第2回福岡支部研修会

日 時：平成30年5月20日（日）13：00～17：00

場 所：桜十字福岡病院

内 容：講 演1「脊椎疾患に対する課題指向型アプローチの実際とその考え方」

講 師1：野原 英樹 氏（福岡リハビリテーション病院）

講 演2「股関節疾患に対する課題指向型アプローチの実際とその考え方」

講 師2：春口幸太郎 氏（福岡和白病院）

講 演3「肩関節疾患に対する課題指向型アプローチの実際とその考え方」

講 師3：小山 泰宏 氏（博多メディカルクリニック）

グループディスカッション「各施設における運動器理学療法の臨床場面の実際とその課題」

座 長：齊藤 貴文 氏（麻生リハビリテーション大学校）

司 会：久保田勝徳 氏（桜十字福岡病院）

参加者：121名

出務者：遠藤、石松、山口、久保田、斎藤、下川、荒木、大鷲、馬場、
伊集院

[福岡1地区]

1. 第1回福岡1地区研修会

日 時：平成30年6月2日（土）13：00～16：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

テーマ：「新人理学療法士のための高齢者に対する運動器疼痛理学療法のすすめ」

講 師：齊藤 貴文 氏（麻生リハビリテーション大学校）

司 会：倉住 直樹 氏（福岡脳神経外科病院）

参加者：83名

出務者：友清、長尾

2. 第2回福岡1地区研修会

日 時：平成30年7月20日（金）18：30～21：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

テーマ：「回復期～生活期における脳卒中片麻痺患者のリハビリテーション

～理学療法士に必要な脳画像の基礎知識と装具療法の考え方～」

講 師：久保田勝徳 氏（桜十字福岡病院）

司 会：平山 剛士 氏（誠愛リハビリテーション病院）

参加者：133名

出務者：有馬、齊藤、寒竹、倉住、北園、小田

[福岡2地区]

1. 第1回福岡2地区研修会

日時：平成30年6月7日（木）19：00～21：00

場所：桜十字福岡病院

テーマ：「高齢者リハビリテーションにおいて必要な知識」

講師：吉田 純一 氏（訪問看護ステーション吉塚）

司会：山口 展明 氏（桜十字福岡病院）

参加者：96名

出務者：上内田、有菌、相浦、荒木

[福岡東地区]

1. 第1回福岡東地区研修会

日時：平成30年6月7日（木）19：00～21：00

場所：水光会ウェルネスセンター

テーマ：「これからの臨床教育 ～求められる人材育成と今後の方向性～」

講師：宇戸 友樹 氏（専門学校麻生リハビリテーション大学校）

司会：藤井 良介 氏（宗像水光会総合病院）

参加者：56名

出務者：樋口、藤井、赤川、石松

2. 第2回福岡東地区研修会

日時：平成30年7月13日（金）18：30～21：30

場所：水光会ウェルネスセンター

テーマ：「脳卒中症例に対する起立歩行練習について」

講師：高橋 博愛 氏（宗像水光会総合病院）

司会：赤川 哲史 氏（宗像水光会総合病院）

参加者：69名

出務者：樋口、藤井、赤川、阿部、石松

[北九州支部]

1. 第1回北九州支部研修会

日時：平成30年5月17日（木）19：00～21：00

場所：北九州リハビリテーション学院

テーマ：「これからの臨床教育から考える卒前教育と卒後教育

～求められる人材育成と今後の方向性～」

講師：宇戸 友樹 氏（専門学校麻生リハビリテーション大学校）

司会：山内 康太 氏（製鉄記念八幡病院）

参加者：30名

出務者：兵頭、井上、本田

[北九州1地区]

1. 第1回北九州1地区研修会

日 時：平成30年5月17日（木）19：00～21：00

場 所：北九州リハビリテーション学院

テーマ：「慢性心不全における病態管理」

講 師：佐藤 憲明 氏（JCHO九州病院）

司 会：八重倉政和 氏（新行橋病院）

参加者：89名

出務者：池田、白川、國田、緒方

2. 第2回北九州1地区研修会

日 時：平成29年7月12日（木）19：00～21：00

場 所：九州栄養福祉大学リハビリテーション学部

テーマ：「地域包括ケアの枠組みと求められるセラピスト像」

講 師：松崎 哲治 氏（麻生リハビリテーション大学校）

司 会：池田 裕一 氏（新行橋病院）

参加者：84名

出務者：國田、中村、伊藤、藤内、田鍋

[北九州2地区]

1. 第2回北九州2地区研修会

日 時：平成30年7月12日（木）18：30～21：30

場 所：製鉄記念八幡病院

テーマ：「脳卒中患者の装具療法について 理学療法士の立場から」

「訓練用仮義足について 義肢装具士の立場から」

講 師：大峯 三郎 氏（九州栄養福祉大学リハビリテーション学部）

狩野 綾子 先生（株式会社 有菌製作所）

司 会：藤田 晃平 氏（戸畑リハビリテーション病院）

参加者：174名

出務者：星木、熊谷、和田、立石、曾我部、坂本、後藤

[筑豊地区]

1. 第2回 筑豊地区研修会

日 時：平成30年5月19日（土）15：00～18：00

場 所：飯塚病院北棟4階多目的ホール

テーマ：「靴の構造と機能から足部障害を考える」

講 師：間島 和志 氏（リハビリ特化型デイムーブメント前原）

司 会：井幡 康明 氏（リハビリ特化型デイムーブメント飯塚）

参加者：28名

出務者：小宮、山崎、尾方、梶原

2. 第3回筑豊地区研修会（症例検討会）

日 時：平成30年6月22日（金）19：00～20：00

場 所：デイサービスセンターすばる

テーマ：1-1：池之野有香 氏（飯塚病院）

「大動脈弁閉鎖不全症により心不全を呈した症例
～病態理解を深め、患者教育に繋げる～」

1-2：江口 高志 氏（村上外科病医院）

「活動性の高い高齢者の新鮮アキレス腱皮下断裂に対して人工靭帯補強を行った 1 症
例」

1-3：永田 武俊 氏（レ・ハビリス桜十字デイケアセンター）

「公民館でのダーツクラブ参加の再開に向けて」

司 会：井上 剛 氏（デイサービスセンターすばる）

参加者：20 名

出務者：引田、青柳

3. 第 4 回 筑豊地区研修会

日 時：平成 30 年 7 月 21 日（土）15：00～18：00

場 所：メディカルヴィラ直方の杜 1 階

テーマ：「慢性心不全患者の生活期の運動療法・指導ポイント」

講 師：島添 裕史 氏（製鉄記念八幡病院）

上野 真副 氏（東筑病院）

司 会：江口 高志 氏（村上外科病医院）

参加者：63 名

出務者：瀬尾、足立、高田、松岡、井上

[筑後支部]

1. 第 1 回筑後支部研修会

日 時：平成 30 年 6 月 16 日（土）14：00～17：00

場 所：久留米大学医療センター

テーマ：「脳卒中患者に対する理学療法戦略～症例を通して～」

講 師：吉村 恵三 氏（九州中央病院）

司 会：立石 圭佑 氏（久留米リハビリテーション病院）

参加者：88 名

出務者：福田、安、中原、木村、今村、仲

[筑後 2 地区]

1. 第 1 回筑後 2 地区研修会

日 時：平成 30 年 5 月 16 日（水）19：00～20：30

場 所：医療法人柳育会八女リハビリ病院リハビリ室

テーマ：「地域と繋がる理学療法士 ～その必要性和課題～」

講 師：田中 香織 氏（みずま通所リハビリテーションセンター）

司 会：中富 翔 氏（医療法人柳育会 八女リハビリ病院）

参加者：26 名

出務者：村上、松崎、高木、芝原、小出、江頭、楠元、野田

2. 第2回筑後2地区研修会

日 時：平成30年7月9日（月）19：00～20：30

場 所：国際医療福祉大学福岡保健医療学部1号館3階物理療法室

テーマ：「平衡機能障害に対する理学療法プログラムデザインの基礎と臨床」

講 師：岡 真一郎 氏（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 理学療法学科）

アシスタント：下田 武良 氏（国際医療福祉大学福岡保健医療学部 理学療法学科）

鈴木あかり 氏（国際医療福祉大学福岡保健医療学部 理学療法学科）

濱地 望 氏（国際医療福祉大学福岡保健医療学部 理学療法学科）

司 会：木原 太史 氏（足達消化器科整形外科医院）

参加者：36名

出務者：村上、松崎、江頭、小出、芝原、平田、上野、長谷川、柳

II. 関係会議

[福岡2地区]

1. 第1回福岡2地区運営会議

日 時：平成30年5月9日（水）19：00～20：00

場 所：博愛会地域リハビリテーションセンター

出務者：中島、白石、中嶋、平井、今本、山口、岩川、白川、中塚、戸田、
上内田、今井、相浦、荒木

[福岡東地区]

1. 第1回福岡東地区運営会議

日 時：平成30年6月1日（金）19：00～20：00

場 所：水光会ウェルネスセンター

出務者：石松、藤井、赤川、桑原、山坂、林、花田、石元、仁位、阿部、樋口、
中藪

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[北九州支部]

1. 介護予防・健康増進キャンペーンにおける体力測定会

日 時：平成30年7月15日（日）13：00～16：30

場 所：レインボープラザ中ホール

内 容：講演、体力測定、運動指導

テーマ：「住民主体型介護予防事業について」

講 師：時吉 直祐 氏（青洲会クリニック）

利用者：22名

出務者：15名

[北九州2地区]

1. 北九州2地区体力測定会（鞘ヶ谷市民センター）

日 時：平成30年5月22日（火）9：00～12：00

場 所：浅生市民センター

内 容：問診、体力測定、運動指導

利用者：45名

出務者：上野、野中、有働、伊藤、園田、鴛海、田中、森脇

[筑後1地区]

1. 筑後1地区介護予防事業

日 時：平成30年7月15日（日）9：00～12：00

場 所：介護老人保健施設 こが21

テーマ：転倒予防教室

講 師：中島 有哉 氏（安本病院）

利用者：12名

出務者：石橋、中原、中島、村山、成富、高塚、井上、三代、齋藤、高橋、山本、服部、渡邊、吉武、
一ノ瀬、羽矢、平川、川辺、中山、松本

[筑後2地区]

1. 筑後2地区介護予防事業

日 時：平成30年7月8日（日）8：30～12：30

場 所：大牟田市労働福祉会館中ホール

テーマ：転ばない身体をつくろう！ ～転倒予防教室～

講 師：榊 英一 氏（柳川リハビリテーション学院）

出務者：野口、坂井、新屋、松田、服部、上野、川島、山田、深野、伊藤、橋口、田中、高木、村上、
岡、池田、新郷、吉村、田村、辻本、高村、安、小山、行平

利用者：27名

II. 関係会議

[北九州支部]

1. 介護予防・健康増進キャンペーンにおける体力測定会 事前会議

日 時：平成30年6月28日（木）19：00～20：00

場 所：製鉄記念八幡病院

内 容：体力測定会の事業・運営について

出務者：本田、山内、宮嶋、石川、藤井、田代

[北九州2地区]

1. 第2回北九州2地区会議（体力測定会事前会議5月22日開催「浅生市民センター」）

日 時：平成30年5月14日（月）11：00～12：00

場 所：東筑病院

内 容：浅生市民センターにおける体力測定会の事業・運営について

出務者：上野、伊藤、有働、園田、野中

[筑後1地区]

1. 第2回筑後1地区会議

日 時：平成30年7月11日（水）19：00～21：00

場 所：朝倉医師会 介護支援センター

テーマ：介護予防事業事前会議

出務者：安、川原、石橋、上瀧、木村、高村、今村、家守、塚田、谷口、水野、中原、中島、村山、福田、綾部

[筑後2地区]

1. 第2回筑後2地区会議

日 時：平成30年7月4日（水）19：00～20：30

場 所：柳川リハビリテーション学院

テーマ：大牟田市介護予防事業等の確認

出務者：村上、松崎、高木、伊藤、小出、江頭、野田、芝原、行平、長谷川、鈴木、榊、岡、本田

【法人事業】

1. 運営スタッフの辞任について

[北九州1地区]

白川 継信 氏（新行橋病院）平成30年6月1日付け（県外異動のため）

[筑後支部]

高嶋 美和 氏（柳川療育センター）平成30年6月30日付け

→岩佐支部局長より説明

【地域包括ケア推進局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

II. 関係会議

[地域包括ケア推進局]

1. 第1回地域包括ケア推進局会議

日 時：平成30年5月8日（火）19：00～21：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：1) 理事・部長紹介

2) 地域包括ケア推進リーダー導入研修会・介護予防推進リーダー導入研修会開催

3) 地域包括ケア推進リーダー導入研修会・介護予防推進リーダー導入研修会開催
(ステップアップ)

4) 地域医療介護総合確保基金（H30年度）→担当 OT

5) 地域包括ケア推進リーダー・介護予防推進リーダー管理について

6) 各市町村の推薦者・実務担当者調査について

7) 講義資料作成について

出務者：松崎、今村、時吉、松崎、大島、志田、林、西村、村田、中村、藪野、帆足、有田、吉田、高木

2. 第2回地域包括ケア推進局会議

日 時：平成30年6月19日（火）19：00～21：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：1) 理事・部長・実務担当者紹介
2) 各市町村状況報告（実務担当者）
3) 推薦要件について

出務者：松崎、今村、時吉、松崎、大、志田、林、西村、村田、中村、藪野、帆足、有田、吉田、高木、山脇、田中、渡邊、嶋邨、北村、大塚、宮本、竹下、山本、井手、宇戸、高濱、横尾、郡山、鳥井、稲富、池田、林、村上、染矢、久保田、久保、政時、加藤、長沢、伊藤、平山、藤井、高橋、木山、山口、中島、江崎、桑原、原口、福田

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

I. 事業

[地域包括ケア推進局]

1. 第3回シルバーリハビリ体操指導士養成講師認定講習会ステップⅠ

日 時：平成30年6月21日（木）12：00～16：30

6月22日（金）9：15～15：45

場 所：茨城県立健康プラザ（茨城県水戸市笠原町993-2）

内 容：第3回シルバーリハビリ体操指導士養成講師認定講習会ステップⅠ受講

出務者：時吉、志田

2. 第3回シルバーリハビリ体操指導士養成講師認定講習会ステップⅡ

日 時：平成30年7月30日（月）9：00～16：30

7月31日（火）9：30～16：30

8月1日（水）9：30～16：15

場 所：茨城県立健康プラザ（茨城県水戸市笠原町993-2）

内 容：第3回シルバーリハビリ体操指導士養成講師認定講習会ステップⅡ受講

参加者：時吉、志田

II. 関係会議

[地域包括ケア推進局]

1. 春日市地域ケア会議出務者への説明会

日 時：平成30年5月17日（木）19：00～21：00

場 所：樋口病院

内 容：1) 事業の説明
2) 地域ケア会議に出務する上での心構え指導
3) 地域ケア会議に出務する上での知識の伝達

出務者：松崎

2. 地域ケア会議に対するリハビリテーション専門職の派遣について県庁との話し合い

日 時：平成 30 年 6 月 4 日（月）16：00～18：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

- 内 容：1）モデル市町村の確定について
2）アドバイザー向け国研修会受講者の選定について
3）市町村への派遣回数及び方法について

出務者：松崎

3. 糸島市来年度事業について打合せ

日 時：平成 30 年 6 月 12 日（火）10：00～12：00

場 所：糸島市役所

- 内 容：1）地域医療介護総合確保基金（介護従事者確保分）について
2）住民主体による通所型サービス B 実施について
3）地域ケア会議について

出務者：松崎

4. 糸島市住民主体の通いの場を支援する住民ボランティア養成に係る事業会議

日 時：平成 30 年 6 月 26 日（火）19：00～21：00

場 所：渡辺整形外科病院

内 容：糸島市住民主体の通いの場を支援する住民ボランティア養成に係る事業

出務者：松崎

【依頼事項】

【事務局】

【法人事業】

[総務部]

1. 平成 30 年度上半期事業報告・下半期事業計画の提出をお願いいたします。

提出先：総務部諫武まで

締め切り：9 月 30 日（日）

2. 平成 31 年度事業計画作成に向けて

次回理事会の際に、平成 31 年度予算案の提出を依頼する予定ですが、各部局新規事業を追加する予定のある場合は、次回 10 月理事会にて提案をお願いいたします。

（県への届け出修正を行う必要があるため）

3. 総会各局検討課題について（別紙：25）

平成 30 年 6 月に開催した総会で出された検討事項について添付の通り集約を行った。各部局該当部分について検討を行っていただきたい。

→諫武理事より説明

[財務部]

1. 平成 31 年度予算案作成並びに事務折衝について

平成 31 年度の予算作成の流れについて以下の流れを作成いたしました。

今年度は、昨年同様、早めの作成スケジュールを予定しております。加えて、次年度予算作成に向けて昨年度同様、三役・事務局・財務との予算事務折衝を開始させていただきたいと思っております。

<平成 31 年度予算案作成スケジュール>

平成 30 年 8 月 18 日（土）：平成 31 年度予算案作成スケジュール説明

↓

平成 30 年 10 月 27 日（土）：平成 31 年度事業計画に合わせて予算案作成依頼

↓

平成 30 年 11 月前半（2 週間）：平成 31 年度予算案について、三役・事務局・財務との事務予算折衝実施。

↓

平成 30 年 11 月後半（2 週間）：事務予算折衝の結果をもとに、平成 31 年度予算案を各部局にて作成および財務部へ提出。

（11 月末締め切り）

↓

平成 30 年 12 月 15 日（土）：平成 31 年度予算案審議。

↓

平成 31 年 2 月理事会：平成 31 年度予算案確定。

→諫武理事より説明

松崎地域包括ケア推進局長：いつも 9 月末に上半期の費用実績表を提出していたが、併せて提出するのか。

中山：提出になる。

【確認事項】

【事務局】

[総務部]

1. 福岡県理学療法士会管理者研修会

平成 30 年度協会指定管理者研修会（初級）を各地区にて別紙の通り開催が決定したので確認いただきたい。ぜひ参加案内協力お願いしたい。

→諫武理事より説明

【次回理事会】

日 時：平成 30 年 10 月 27 日（土） 15：00～

会 場：麻生リハビリテーション大学校

※理事会資料の締め切りは 10 月 12 日（金）

以上この議事録の内容が正確であることを証明するため、出席した会長、事務局長、ならびに監事は、次の通り署名する。

平成 30 年 8 月 18 日

公益社団法人 福岡県理学療法士会